

令和2年度 社会福祉法人小牧福祉会 事業実績報告

I. 小牧福祉会（本部）の事業報告

1. 評議員会

令和2年 6月23日 令和元年度事業実績・収支決算、理事の選任

2. 理事会

令和2年 6月 8日 令和元年度の事業実績・収支決算、本庄授産所車輛整備に係る業者選定、令和2年度収支補正予算、理事の退任及び理事候補者の推薦、定時評議員会の招集

令和2年 6月23日 理事長の選定、評議員選任・解任委員の選任、本庄授産所車輛整備に係る業者の決定及び契約

令和2年 7月 6日 令和元年度収支決算報告（監事監査報告）（書面表決7月14日）

令和2年12月14日 令和2年度収支補正予算

令和3年 3月15日 評議員候補者の推薦、社会福祉法人小牧福祉会職員給与規程の一部改正、各事業所の運営規程の一部改正、小牧福祉会工賃支払基本要綱の一部改正、令和2年度収支補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度収支予算

令和3年 3月26日 令和3年度役員等賠償責任保険の契約（書面表決3月26日）

3. 監事監査

令和2年 5月22日 令和元年度事業実績・収支決算

指摘事項 特になし

今後に向けて…利用者減への対策

4. 社会福祉法人指導監査（小牧市）

実施なし

5. 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

実施なし

6. 会議・委員会

将来検討委員会（年4回）

令和2年 5月28日 グループホーム開設、送迎、職員研修、財政計画

令和2年 7月14日 グループホーム開設、送迎

令和2年11月26日 グループホーム用地視察及び検討

令和3年 2月25日 グループホーム開設、送迎、中期経営計画の進捗状況から次の計画、報酬改定

安全衛生委員会（年12回） 施設における安全面や衛生面に関する検討

苦情等解決第三者委員会（年1回）

令和3年 2月19日 令和2年度の報告

理事長・施設長等会議（年12回）

施設長等・主任会議（年12回）

将来計画合同検討会（年8回）小牧福祉会中期経営計画に基づいた検討

（グループホーム開設、危機管理、送迎、職員研修）

7. 研修

令和3年 3月22日 小牧市内保健福祉施設団体連絡会（令和2年度職員研修会）

BCP（事業継続計画）について（オンラインZOOM）伊藤 茂 施設長

8. 広報紙

「なかまの“わ”」(年3回 利用者、法人関係、施設関係、近隣自治会等へ配布および回覧)
発行部数 1,100部

9. その他

令和2年11月	全国社会福祉大会 永年勤続	受章者1名
令和2年11月	愛知県社会福祉大会 愛知県知事感謝 愛知県社会福祉協議会会長 感謝	受章者1名 受章者5名
令和2年10月	小牧市社会福祉大会 市長表彰 市長感謝 小牧市社会福祉協議会会長 感謝	受章者2名 受章者2名 受章者1名

令和3年1月16日・29日 就職説明会開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため行事の中止や活動を制限し、代替内容で対応をしてきました。また、社会状況から利用者の感染に対する不安からの利用控え、施設外での販売機会が失われたことや企業の生産調整等による収入減など様々な面での影響がありました。

利用者が社会生活する上で必要なサービスであることから感染防止を第一に考え、感染防止対策の徹底を図りました。

Ⅱ. いわざき授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供をするよう努めました。また、利用率の維持・安定を目指して日中活動の場の検討や職員の質の向上等、魅力ある施設利用に繋げるよう努めました。

生活介護においては、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、また、高齢化に向けた情報収集を進め、利用者に適した支援を模索し、介護、療育的活動、創作的活動および生産活動の提供等を通して支援を行いました。

相談支援においては、障がい者等やその家族の意思、選択に基づいたサービス利用に係る利用計画を作成し、適切な福祉サービスが提供されるよう支援を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常的な支援・指導を行い在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

開所日数 261日 (265日予定)

I) いわざき授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス(生活介護)

サービス提供時間 9:00～16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和3年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護：定員40名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	42	493
合計	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	42	493

年齢(令和3年3月31日現在)

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	1	2	2	3	10	4	2	24
女	0	0	1	5	7	4	1	18
合計	1	2	3	8	17	8	3	42

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和3年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	6	8	6	4	24
女	0	0	0	5	4	5	4	18
合計	0	0	0	11	12	11	8	42

市町村別(令和3年3月31日現在)

小牧市 42名

(2) 職員 22名(令和3年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員17名、事務員1名、調理員3名、嘱託医師1名

2. 支援・指導

生活介護：生産活動や療育的活動等の提供を行いました。

(1) 生産活動

- ・利用者一人ひとりの能力や障がい特性を考慮し、できることやできそうなことを個々に合わせた作業を提供しました。

・就労へ向けた支援は、就労希望者等の該当者がなく行いませんでした。

- 【内容】 自主作業：印刷、縫製、仕入れ、資源回収
受託作業：ガス器具部品組立、自動車部品組立、電気設備部品組立
※全員が協力し、忙しい作業は、お互いに手伝い合いました。
- 【時間】 9：30～15：30の間

(2) 日中活動

- ・利用者のニーズ・課題を把握し、基本的な生活習慣（身辺処理、みだしなみ、食事マナーなど）が確立できるように、日常的な事柄の支援・指導を行いました。
- ・自己表現や自己選択をする機会や場を設け、利用者本人の意思で決定できるように支援・指導を行いました。
- ・療育的活動や創作的活動を楽しめるよう提供し、心身ともに健康な生活が送れるように支援しました。

<日々の活動>：散歩・レクリエーション 等

- 【内容】 療育的活動（リトミック・3B体操・音楽療法等）
創作的活動（作品作り・興味関心のある取り組み等）
生活に関する活動（そうじ・買い物・社会資源の活用等）
- 【時間】 13：00～15：30の間

<活動内容>

- グループ活動 … 「生産活動－工賃－楽しみ」が結びつくよう地域の社会資源に出かけ、工賃を使用する機会を提供しました。日常生活に密着した活動（買い物等）をし、自立生活に結びつくよう支援しました。
- お楽しみ活動（芸術・音楽・体操）
… 自分を表現する場、新たな能力の発見の場として、また、余暇の過ごし方や楽しみを見つける場として支援しました。
- 全体活動（ゴミゼロ、いわざき塾、レクリエーション、体力づくり）
… 地域への貢献として施設周辺の清掃を行いました。日常生活に役立つ学習や情報提供を行い、楽しみながら身体を動かす活動を行いました。
- 選択活動 … 利用者各自の興味関心から数種類の企画をし、各自が好きな内容を自己選択して楽しく過ごす時間にしました。
- そうじの日 … 経験を通して身の回りの片づけや机拭きなどを指導しました。
- ティータイム … 自己選択やリラックスする時間として飲み物等を用意し、仲間と親睦を深める時間として支援しました。
- ※日々の活動は、原則として隔週で金曜日の午後および土曜日の午後に行いました。
※その週に休日や行事等がある時は、活動を中止または変更しました。

3. 各種会議・職員研修・広報

・会議

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 職員会議（年15回） | 運営・行事の検討、利用者の処遇向上等 |
| 個別支援計画会議（年26回） | 利用者個々の処遇向上、モニタリング報告、個別支援計画の作成・見直し・確認等 |
| 評価会議（年3回） | 利用者の作業姿勢および工賃等 |
| サービス評価会議（年1回） | 施設サービスの自己評価 ※回覧により報告 |
| 調整部会（年0回） | 施設の課題等の整理、検討 |
| 作業部会（年12回） | 作業分析から作業工程、就労支援・就労者フォロー |
| 生活部会（年12回） | 施設内の生活支援全般、ボランティアの受入等 |
| 広報部会（年12回） | いわざきの“わ”、ホームページ等各種PR等 |

・職種別合同部会

支援スタッフ部会（年各1回） 作業部(利用者の作業姿勢評価および工賃等)
生活部(施設サービス評価)
広報部(ホームページ、広報紙等)

事務担当者部会（年14回） 予算作成、会計運用等

調理担当者部会（年0回） 食材による調理方法等
※必要に応じて電話にて連絡

保健・看護担当者部会（年0回） 薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等
※必要に応じて電話にて連絡

広報担当者部会（年0回） 情報共有および連絡調整
※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

施設外研修 各種団体等の研修会（年6回、延6名）※オンラインを含む

普通救命講習会（年1回、延1名）

法人内研修 職員合同研修会（年2回）※各事業所にて

・研修報告～事例検討「異性間での接触について」～振り返り

施設内研修 年度末研修会（年1回、21名）

・権利擁護研修

出張報告会等（年2回）

資格取得奨励 該当なし

自主研修利用 該当なし

・広報紙

授産所だより（毎月1回 利用者） 発行部数 50部

・実行委員会

いわざきふれあいまつり実行委員会（年0回）

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1 27～29	入・開所式 家族会総会 <中止> 春の大掃除 (WAX)
5	27	作業参観<中止> 健康診断 (やまもとクリニック) いわざきふれあいまつり <中止>
6	1～30 11 29	家庭訪問 (自宅所在地確認) 家族向け講習会 <中止> 防災訓練 レントゲン検診 (あいち健康クリニック)
7		
8	13～15 24	夏季休暇 消防設備点検
9	4 10 16	防災訓練 歯科検診 小牧福祉会職員合同研修会 (1回目) ※各事業所にて
10	7 12	インフルエンザ予防接種 (やまもとクリニック) 電気設備点検
11	2	年賀状印刷受付開始 スポ・レクのつどい (パークアリーナ) <中止>

1 2	2 2 2 9～1/4	大掃除 小牧ライオンズクラブ慰問 年末年始休暇
1	5 1 6 1 8	仕事はじめ、初詣 新年会 防災訓練
2	4～2 5 1 0 1 9～2 6 2 4	三者懇談会 消防設備点検 小牧福祉会職員合同研修会（2回目）※各事業所にて いきいき展（味噌市民センター） 自動販売機設置
3	2 6 3 1	次年度事業説明会 利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
	こまき産業フェスタ<中止>		岩崎デイサービスセンター秋まつり<中止>
	たがた苑まつり<中止>		小牧市社会福祉大会<中止>
	豊寿苑夏祭り<中止>		みんなの生活展(いきいきこまき) <中止>
	いわさきふれあいまつり<中止>		本庄ふれあいまつり<中止>
	野口の郷ふれあい祭り<中止>		久保区作品展（3あい事業）<中止>
	福祉展（小牧市民まつり）<中止>	12/18・1/7・3/24	小牧市老人福祉センター（野口）

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
実習	7/6～17	産業現場実習（一宮東特別支援学校 高等部）	1名
◎実習	7/27～7/30	介護福祉実習（古知野高校）	4名
◎実習	8/3～8/6	介護福祉実習（古知野高校）	4名
◎実習	8/3～9/8	社会福祉士実習（中部学院大学）	2名
◎実習	9/14～11/17	教員免許特例介護体験（名古屋造形大学）	16名
実習	10/19～30	産業現場実習（一宮東特別支援学校 高等部）	1名
◎実習	2/4～3/10	社会福祉士実習（中部学院大学）	1名

◎は愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事 業 内 容	人数等
お楽しみ活動講師（音楽）	1個人 3回
お楽しみ活動講師（芸術）	1個人 2回
リトミック講師	1個人 8回
3B体操講師	1団体 3回
音楽療法講師	1個人 7回
日中活動（作業、活動）	8個人 年間延92名

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）
- ・災害時開放型自動販売機設置（飲料水）

10. 施設整備（設備整備）関係

特になし

II) 計画相談支援

(1) 内容

障害福祉サービスを利用する障がい者及びその家族の意思や選択に基づいたサービス等利用計画を作成し、適切な福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるようにサービス利用の支援をしました。また、サービス等利用計画が適切であるかモニタリングをし、継続サービス利用の支援も行いました。

(2) 契約者数 89名（令和3年3月31日現在）

利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
いわさき	8	9	8	10	11	11	9	8	8	12	11	9	114
本庄	8	6	14	7	11	7	6	10	7	7	12	7	102
その他	11	3	6	9	3	5	5	7	8	6	3	2	68
計	27	18	28	26	25	23	20	25	23	25	26	18	284

(3) 職員 2名（令和3年3月31日現在）

管理者1名(兼務)、相談支援専門員1名

III) 日中一時支援事業（公益事業）

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を提供し、見守り等支援を行いました。

(2) 契約者数 33名（令和3年3月31日現在）

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	0	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	13
タイムケア	7	3	4	7	4	6	5	7	5	3	7	5	63
延日数	17	9	16	15	12	13	13	13	12	10	16	15	161

(3) 職員 11名（令和3年3月31日現在）

管理者1名、生活支援員10名

Ⅲ. 本庄授産所の事業報告

方針 生活介護事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活上の支援や療育的・創作的活動および生産活動の提供を行い、必要な支援を行いました。

就労継続支援B型事業では、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、福祉的就労、その他の活動の機会を通じて、知識および能力の向上のために必要な支援や指導を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な支援・指導を行い、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

多機能型事業所としながらも、行事等においては1事業所として仲間生活を大切に相互に交流を図れるよう支援を行いました。

開所日数 261日 (265日予定)

I) 本庄授産所の利用者への支援・指導

1. 日中活動サービス (生活介護および就労継続支援B型)

サービス提供時間 9:00~16:00

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和3年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護:定員25名、就労継続支援B型:定員15名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22	268
就労	15	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	163
合計	38	37	37	37	36	36	35	35	35	35	35	35	431

年齢(令和3年3月31日現在)

	~18	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	合計
男	0	0	4	6	12	0	1	23
女	0	0	1	2	5	4	0	12
合計	0	0	5	8	17	4	1	35

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和3年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	4	10	7	2	23
女	0	0	2	1	7	0	2	12
合計	0	0	2	5	17	7	4	35

市町村別(令和3年3月31日現在)

小牧市	33名	春日井市	2名
-----	-----	------	----

(2) 職員 20名(令和3年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員14名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員1名、事務員1名、調理員5名、嘱託医師1名

2. 支援・指導

生活介護

(1) 生産活動

利用者の能力や精神面での安定を図れるよう考慮しながら、生産活動の提供を行いました。

- 【内容】 受託作業：ガス器具部品の組立・・・・・・(株)小野工業所
電気設備部品の組立・・・・・・ワールド化成(株)
自主作業：資源回収
- 【時間】 9：30～15：30 (個人による)

(2) 日中活動

集団における活動を通して、対人関係を考慮し、利用者がお互いに仲間関係を大切にできるよう支援・指導に努めました。

情緒的安定のための療育的な活動や体力の維持増進のための身体を動かす活動等を楽しみながら行うことで、心身の健康づくりを図りました。

- 【内容】 わかば活動／チャレンジ活動：ウォーキング、創作・日常生活に関する活動等
療育的活動：音楽療法

- 【時間】 13：00～15：30

就労継続支援B型

(1) 就労支援

「働くことの意味の理解」を目標に、意欲・技術・社会参加等、労働に対する姿勢を利用者のニーズに合わせて支援・指導に努めました。

利用者個人の能力や適性を把握し、工程分析を行うことで利用者個人に適した作業および作業環境や配置を提供し、労働の意欲が高められるよう支援・指導に努めました。

また、社会参加をめざし、施設外就労および一般就労希望の利用者に対して施設外支援を実施しました。

- 【内容】 施設内作業：受託作業：ガス器具部品の組立・・・・リンナイ(株)
ウレタン加工・・・・ブリヂストン化成(株)
電気設備部品の組立・・・・ワールド化成(株)
自主作業：縫製、紙工芸、めだか

施設外就労：受託作業：ペットボトル手選別・・・・小牧市リサイクルプラザ

- 【時間】 施設内：9：30～15：30
施設外：9：20～15：50

(2) 施設外支援

各関係機関と連携し、就労支援（企業見学、実習等）を行いました。

(3) 就労定着支援

一般就労した利用者に対し就労後の定着、維持ができるよう訪問等の定着支援を行いました。

生活介護および就労継続支援B型（共通）

日常生活・日中活動支援

「活動を通した豊かな生活」を目標に、日常生活や各種活動および生産活動を含めた幅広い日中活動を通して、基本的な生活習慣の確立や自立、自活に役立つよう支援・指導に努めました。

- ・ 基本的な生活習慣 ～ 身辺処理、みだしなみ、食事マナー等
- ・ 意思決定や生活に密着した活動 ～ 調理等
- ・ 自己表現、新たな能力の発見や情操面での安定 ～ いきいき活動：リトミック、創作活動、体操
- ・ 生活全般に関わる学習会 ～ 一休さん：新型コロナウイルス感染予防について
授産所の防災について&フェイスシールド作り
バーチャルバス旅行
防災（地域の避難場所）について
令和3年度に向けて変わること
- ・ 体力の維持、増進を図る活動 ～ 健康体操、ラジオ体操、ウォーキング等
- ・ その他 本人活動：ふれあいの会を通して活動等の内容の企画・検討
～ 授産所だよりの掲載文 等

3. 各種会議・職員研修・広報

・会議

- 職員会議（年18回） 運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
- 個別支援会議（年23回） 利用者個々の処遇向上、個別支援計画の作成・見直し・確認等
- 評価会議（年4回） 利用者の作業姿勢および工賃等
- サービス評価会議（年1回） 施設サービスの自己評価
- 作業部会（年12回） 作業分析、就労・実習支援、就労後支援等
- 生活部会（年12回） 施設内の生活支援全般、ボランティア受入等
- 広報部会（年12回） “あつまれ！なかま”、ホームページ等各種PR

・職種別合同部会

- 支援スタッフ部会（年各1回）
 - 作業部（利用者の作業姿勢評価および工賃等）
 - 生活部（施設サービス評価等）
 - 広報部（ホームページ、広報紙等）
- 事務担当者部会（年14回）
 - 予算作成、会計運用等
- 調理担当者部会（年0回） 食材による調理方法等
 - ※必要に応じて電話にて連絡
- 保健・看護担当者部会（年0回） 薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等
 - ※必要に応じて電話にて連絡
- 広報担当者部会（年0回） 情報共有および連絡調整
 - ※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

- 施設外研修 各種団体等の研修会（年6回、延6名）
普通救命講習会（年0回）
- 法人内研修 職員合同研修会（年2回）※各施設にて
・研修報告～事例検討「異性間での接触について」～振り返り
- 施設内研修 年度末研修会（年1回）
・権利擁護研修
出張報告会等（年3回）
- 資格取得奨励 該当なし
- 自主研修利用 該当なし

・広報紙

- 授産所だより“はばたき”（毎月1回 利用者） 発行部数 38部

・実行委員会

- 本庄ふれあいまつり実行委員会（年0回）

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1 28～5/1	入・開所式 ワックスがけ 保護者会総会<中止>
5		作業参観・懇談会<中止> 職場旅行<中止>
6	4 29	防災訓練 レントゲン検診（愛知健康クリニック）

7	30	家庭訪問（自宅所在地確認） 歯科健診 保護者向け講習会<中止>
8	13～15 24	夏季休暇 消防設備点検
9	1 17	防災訓練（あいちシェイクアウト訓練に参加） 防災訓練、 小牧福祉会職員合同研修会（1回目）※各事業所にて
10	30	健康診断・インフルエンザ予防接種（しのおか内科クリニック） 1日グループ活動<中止>
11	7	本庄ふれあいまつり<中止> 代替え行事 本庄ミニまつり開催 スポ・レクのつどい（パークアリーナ）<中止>
12	22 29～1/4	大掃除 小牧ライオンズクラブ慰問 年末年始休暇
1	5 16	仕事はじめ 成人を祝う会・新年会
2	10 18	消防設備点検・電気設備点検 防災訓練 小牧福祉会職員合同研修会（2回目）※各事業所にて
3	25 31	次年度事業説明会 利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（年0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
	こまき産業フェスタ（中止）		本庄区民まつり（3あい事業）（中止）
	たがた苑まつり（中止）		みんなの生活展（いきいきこまき）（中止）
	さまふえす in 味岡（味岡中）（中止）		小牧市社会福祉大会（中止）
	いわざきふれあいまつり（中止）		
	野口の郷ふれあい祭り（中止）	年数回	セルフ即売会（委託販売）
	福祉展（小牧市民まつり）（中止）	3/17	小牧市老人福祉センター（野口）
1/16～1/31	ほっと・すぽっと（本庄小、オンライン開催につきバザーでの参加は無し）		

常設店：武野屋、キャロット

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人 数
実習	9/28～10/2	産業現場実習（春日台特別支援学校 中学部3年生）	3名
◎体験	10/26～12/25	教員免許特例介護体験（愛知文教大学、名古屋学院大学）	17名
実習	1/25～1/29	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部2年生）	2名
◎実習	9/14～3/19	保育士実習（愛知江南短期大学、名古屋女子大学 名古屋女子大学短期大学部、修文大学短期大学部）	14名

◎は、愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事業内容	人数等	
本庄ミニまつり	1団体	2名
いきいき活動講師（音楽療法）	1個人	5回
いきいき活動講師（創作）	1個人	6回
いきいき活動講師（リトミック）	1個人	7回
健康体操講師	1個人	5回
日中活動（作業、活動）	3個人	年間延10名

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）

10. 施設整備（設備整備）関係

愛知県共同募金会配分事業を受け、公用車の購入を行いました。

契約日 6月25日

事業費 総事業費…2,523,310円

共同募金配分金…1,700,000円 自己資金…823,310円

II) 日中一時支援事業（公益事業）

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援および日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を確保し、見守り等、支援を行いました。

(2) 契約者数 30名（令和3年3月31日現在）

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	1	0	2	5	1	2	2	1	2	1	2	0	19
タイムケア	0	1	3	5	2	2	4	4	3	3	5	1	33
延日数	1	1	5	10	3	4	6	5	5	4	7	1	52

(3) 職員 9名（令和3年3月31日現在）

管理者1名、生活支援員 8名

IV. 新町ホームきぼうの事業報告

方針 利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体および精神の状況や環境に応じて支援を行いました。また、日常生活上における入浴、排せつ又は食事の介護や相談、その他の援助を利用者のニーズに合わせながら適切に行いました。

なお、空室が生じた時は、その空室を利用して一時的に共同生活住居に入居し、自立生活の体験利用も実施しました。

I) 新町ホームきぼうの入居者への支援・指導

1. 指定共同生活援助

(1) 入居者

利用（契約）人数（令和3年3月31日現在）

		指定共同生活援助（定員6名）													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新町 ホーム きぼう	入居数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	57
	利用日	115	87	110	118	80	108	113	102	85	61	70	81	1130	
	稼働率	63.9	46.8	61.1	63.4	43.0	60.0	60.8	56.7	45.7	32.8	41.7	43.5	51.6	
	体 験 含	入居数	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5	65
		利用日	115	87	112	129	91	116	119	108	101	80	76	91	1225
	稼働率	63.9	46.8	62.2	69.4	48.9	64.4	64.0	60.0	54.3	43.0	45.2	48.9	55.9	

年齢（令和3年3月31日現在）

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	0	1		2	0	0	3
女	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	1	1	2	0	0	4

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和3年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	2	0	0	3
女	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	0	0	1	3	0	0	4

市町村別（令和3年3月31日現在）

小牧市 4名

(2) 職員 22名（令和3年3月31日現在）

管理者1名（兼務）、サービス管理責任者1名（兼務）、世話人5名（兼務含む）
生活支援員18名（兼務含む）

2. 支援・指導

＜豊かな生活から自立に向かう＞

一人ひとりの障がい状況に応じた、日常生活支援に加えて、個々の希望にあった生活の中での自己選択や意思決定が行えるよう支援をしました。また、自主性を育て、仲間との協調性や責任感を身につけ、精神的、経済的に自立に向かっていけるよう支援に努めました。

地域や家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供と利用者に寄り添った支援に努めました。

- (1) 日常生活支援
 - ・対人関係を考慮しながら、利用者が互いに仲間関係を大切にするよう支援・指導を行いました。
 - ・日常生活面における相談や食事、入浴、排せつ等基本的な生活の介護や支援、調理、買い物、身辺の整理整頓等への支援を行いました。
- (2) 余暇支援
 - ・様々な催し物（活動や行事等）を提供し、生活の中の楽しみとなるよう支援・指導を行いました。
- (3) 健康管理支援
 - ・健康状況などを把握し、疾病予防、健康管理に努めました。家族や日中活動の事業所、連携を密にし、利用者の体調の変化に応じて迅速な対応に努めました。
- (4) 個別支援計画の作成
 - ・利用者の状況やニーズに応じた適切なサービスを提供するため、アセスメントを実施し個別支援計画を作成しました。作成された支援計画を実施しながら、モニタリングを行いました。
- (5) 災害時および緊急時への対応
 - ・非常災害対策計画や消防計画に基づき、安心・安全な生活を送れるよう家族や地域、関係機関との連絡体制を整え、帰宅後や就寝時間に防災訓練を行いました。
 - ・利用者の呼出し等速やかに対応できるよう常時連絡できる体制を確保しました。
- (6) 嗜好調査
 - ・食事等についての意見や要望を聞き取り、バランスのとれた食事等に配慮しました。
- (7) 地域との交流
 - ・地域や地域住民の理解促進のために地域自治会に加入し、地域の一員として積極的にあいさつをして交流に努めました。
- (8) 体験利用
 - ・入居に向けた共同生活援助の体験の場を提供し、自立生活に向けた支援をしました。

3. 職員研修

職員の資質向上、専門知識の修得等

- | | |
|-------|------------------------------|
| ①外部研修 | 各種団体等の研修会（年0回、延0名） |
| ②研修報告 | 特になし |
| ③内部研修 | 日常事例から兼務職員による直接的な支援・対応の仕方の助言 |

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	3	防災訓練（避難経路の確認）
7	17	防災訓練（夜間）
8	26	消防設備点検
12	28～1/4	年末年始帰省
1	28	防災訓練（地震・火災）
2	17	消防設備点検
3	16	防災訓練（地震・火災）

※該当者がいる月に誕生会やクリスマス会等を実施

※個別懇談会（モニタリング等）を実施

5. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期日	実習等の内容	人数
見学	9/14	社会福祉士実習生	1名
見学	2/25	社会福祉士実習生	1名

6. ボランティアの受け入れ

特になし

7. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 公益的な取り組み

特になし

9. 施設整備（設備整備）関係

特になし